

議事要旨(3)金融商品専門委員会における検討状況について（IASB へのコメント対応）

冒頭、西川委員長（専門委員長）より、金融商品専門委員会では、2008年3月にIASBより公表されたディスカッション・ペーパー（DP）「金融商品の財務報告における複雑性の低減」へのコメント対応を図ってきたが、本日の審議を経てIASBへコメントを提出する予定である旨の説明がなされた。続いて板橋専門研究員より、前回の企業会計基準委員会（8月28日開催）以降に行われたコメント案の修正の概要について説明がなされた。

説明の後、委員からの発言及び事務局からの説明は次のようなものであった。

- ・ ある委員から、負債の公正価値評価に対して懸念を伝える際には具体的な問題点を指摘した方がコメントの趣旨が明確になるのではないかとの意見があった。これに対し事務局からは、信用リスクの上昇によって利得が生じるという点に大変重大な懸念を持っている旨のコメントを行っているほか、IASBはDPの中で当該論点について整理したうえで質問を設定しているため、コメントの趣旨は伝わると思われるとの説明がなされた。

審議の後、本コメントをIASBに提出することとなった。

以上